

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成23年5月30日
【四半期会計期間】	第4期第1四半期（自平成22年6月1日至平成22年8月31日）
【会社名】	E・Jホールディングス株式会社
【英訳名】	E・J Holdings Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小谷 裕司
【本店の所在の場所】	岡山県岡山市北区津島京町三丁目1番21号
【電話番号】	086 - 252 - 7520
【事務連絡者氏名】	管理本部副本部長 浜野 正則
【最寄りの連絡場所】	岡山県岡山市北区津島京町三丁目1番21号
【電話番号】	086 - 252 - 7520
【事務連絡者氏名】	管理本部副本部長 浜野 正則
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年10月15日に提出いたしました第4期第1四半期（自平成22年6月1日至平成22年8月31日）の四半期報告書の記載事項の一部に漏れがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

- 第一部 企業情報
 - 第1 企業の概況
 - 3 関係会社の状況

3【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

3【関係会社の状況】

（訂正前）

当第1四半期連結会計期間において、株式交換により以下の会社が新たに当社の主要な関係会社となりました。

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業の内容	議決権の所有割合 (%)	関係内容
(連結子会社) ㈱近代設計	東京都千代田区	200	総合建設コンサル タント事業	100.0	経営指導

- （注）1 「主要な事業の内容」欄には、セグメント情報の名称を記載しております。
2 特定子会社であります。

（訂正後）

当第1四半期連結会計期間において、株式交換により以下の会社が新たに当社の主要な関係会社となりました。

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業の内容	議決権の所有割合 (%)	関係内容
(連結子会社) ㈱近代設計	東京都千代田区	200	総合建設コンサル タント事業	100.0	経営指導

- （注）1 「主要な事業の内容」欄には、セグメント情報の名称を記載しております。
2 特定子会社であります。

また、当社が所有していた自己株式を対価とした当該株式交換の結果、当第1四半期連結会計期間において、当社の親会社であった株式会社八雲は、緊密な者と合わせた議決権の所有割合が52.37%から49.50%へ低下したため当社の親会社に該当しないこととなりました。なお、異動前後の総株主に対する議決権の割合は、平成22年5月31日現在の総株主等の議決権の総数を基準として、上記の株式交換に伴う議決権数の増加を考慮して算出しております。